学校番号	２０６

令和８度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改定版　現代の国語」（数研出版）						
副教材等	「意味から習得　音訓別　重要進出漢字リアルマスター３３００」（尚文出版）、「正しく読み・解くための力をつける　現代の国語」（数研出版）、「読む力をつけるノンフィクション選　中高生のための文章読本」（筑摩書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語力は、あらゆる論理的思考の基に位置すべき重要な骨格である。 単純な意思疎通のみに終始した生徒たちの柔弱な言語環境を生徒自らが主体的に脱し、真に気持ちの通い合うコミュニケーションの成立をめざせるよう美しい日本語を手本として、より高次の読解力・表現力を養うべく、教科書を中心とした授業を実施する。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わり思いや考えを深めると同時に、言葉のもつ価値への認識を新たにし、言語感覚を磨き言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	文章構成に着目して要旨を理解しよう ［教材］ 「水の東西」 「『わらしべ長者』の経済学」	a： ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]: ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c： ・評論文の基本的な構成や展開について理解するとともに、対比表現や類比表現などに着目して要旨を理解しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況 ・振り返りシート
	話し合いにおけるルールと適切な振舞いを考えよう ［教材］ 「命は誰のものなのか」 「未来世代への脅威」	a： ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話/聞]: ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c：話し合いの種類や話し合いの仕方について理解するとともに、話し合いの目的や参加者の反応を確認しながら話し合おうとしている。	・パフォーマンス課題 ・ワークへの取り組み状況	・パフォーマンス課題 ・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況 ・パフォーマンス課題 ・振り返りシート
	情報と情報の関係に着目して筆者の主張を理解しよう ［教材］ 「ポスト・プライバシー」 「ものとことば」	a： ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]: ・文章の種類を踏まえて、内容や構成，論理の展開などについて叙述を基	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況 ・振り返りシート

		に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めている。 c： ・具体と抽象、主張と根拠などの情報の種類や関係について理解するとともに、それらを見極めながら筆者の主張を理解しようとしている。			

2	・情報を探索・整理しわかりやすくまとめてみよう ［教材］ 「資料を分析して考えをまとめる」	a： ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 b[書]： ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c： ・情報の集め方や整理の仕方について理解するとともに、目的に応じて情報をわかりやすく編集しようとしている。	・パフォーマンス課題 ・ワークへの取り組み状況	・パフォーマンス課題 ・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況 ・パフォーマンス課題 ・振り返りシート
	内容の妥当性を吟味しながら読もう ［教材］ 「事実なのか考えなのか」 「コミュニケーション能力とはなにか」 「一人の中にある無限」	a： ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[読]： ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況 ・振り返りシート

		文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c: ・情報の種類や情報の妥当性・信頼性の吟味の仕方を理解するとともに、筆者の主張とその根拠を吟味しながら読もうとしている。			
	建設的な議論のためのルールと振舞いについて考えよう 「無痛化する社会のゆくえ」 「感情暴走社会の由来」	a: ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話/聞]: ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c: ・建設的な議論のために必要な条件や振舞いを理解するとともに、任意のテーマについて多角的に検討しながら、自身の考えを確立しようとしている。	・パフォーマンス課題 ・ワークへの取り組み状況	・パフォーマンス課題 ・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況 ・パフォーマンス課題 ・振り返りシート
	主張・根拠・論拠の結びつきを吟味しながら読もう 「政治的思考」 「時間と自由の関係について」	a: ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・推論の仕方を理解し使うこと。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[読]: ・文章の種類を踏まえて，内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c:	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況 ・振り返りシート

		・情報の種類や関係、論証の仕方について理解するとともに、理由づけの適切さに注目して筆者の論証を吟味しながら理解しようとしている。			

3	多角的な視点から文章を吟味しながら読もう ［教材］ 「他者を理解するということ」 「浪費を妨げる社会」	a： ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・推論の仕方を理解し使っている。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[読]： ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c： ・論証における修辞的表現の役割について理解するとともに、論証の仕方や表現の適切さを吟味しながら筆者の主張を理解しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況 ・振り返りシート
	説得的に自身の意見を書こう 「『わたし』の輪郭」 「科学と非科学」	a： ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 b[書]： ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分	・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況 ・振り返りシート

		の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c: ・説得的な文章の構成要素や展開について理解するとともに、主張を支える根拠と論拠を明確にしながら自身の考えを書こうとしている。			
	説得的に自身の考えを発表しよう 「絵を前に思いをめぐらす」 「『歴史を学ぶ』ということ」	a: ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[話/聞]: ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c: ・分かりやすい話し方や情報提示の仕方について理解するとともに、聞き手の反応を予想しながら資料を作成し、また聞き手の反応を確認しながら話そうとしている。	・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況	・ワークへの取り組み状況 ・振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間